

【家庭園芸用GFオルトラン水和剤】2017年3月22日作成

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

【適用害虫と使用方法】 ←この色の部分が2017年3月22日付けで変更になりました。

【適用害虫と使用方法】

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びアセフェートを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法				
花き類・観葉植物	アザミウマ類、アブラムシ類	1,000～1,500倍	100～300ml/m ²	発生初期	5回以内	散布				
きく	アオムシ、ヨトウムシ類	1,000倍								
ストック	マメハモグリバエ、オオタバコガ									
宿根アスター	コナガ、ハイマダラノメイガ									
カーネーション	ヨメナスジハモグリバエ									
ひまわり	コナガ									
斑入りアマドコロ、リアトリス	タバコガ									
オンシジウム	ハマキムシ類									
グラジオラス	カイガラムシ類									
芝	アザミウマ類						1,000倍	—	植付時	本剤:1回 アセフェート:5回以内
芝	スジキリヨトウ、シバツトガ、タマナヤガ、ケラ		1,000倍	1～2L/m ²	発生初期	5回以内	散布			
	シバオサゾウムシ成虫	2L/m ²								
	アカフツツリガ	0.5～1L/m ²								
さくら	アザミウマ類	1,500～2000倍	200～700ml/m ²	発生初期				5回以内	散布	
つつじ類	アメリカシロヒトリ									
	モンクロシャチホコ									
つばき類	アザミウマ類	1,000倍								
つばき類	チャドクガ	1,500倍								
	アザミウマ類	1,000倍								
樹木類(つつじ類、つばき類、さくらを除く)	アザミウマ類	1,000倍								
キャベツ	アザミウマ類	1,000倍			100～300ml/m ²	収穫30日前まで	本剤:1回 アセフェート:2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)			散布
	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、タマナギンウワバ	1,000～1,500倍								
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1,000～2000倍								
はくさい	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1,500～2000倍	収穫30日前まで	1回		3回以内				
	カブラハバチ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ	1,500倍								
レタス	ヨトウムシ	1,000～1,500倍	収穫30日前まで	3回以内						
非結球レタス	オオタバコガ、アブラムシ類、アザミウマ類	1,000倍								
ばれいしょ	ヨトウムシ	1,000～1,500倍	収穫30日前まで	本剤:2回以内 アセフェート:3回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)						
	アブラムシ類、ジャガイモガ									
いんげんまめ	テントウムシダマシ幼虫、ヨトウムシ	1,000倍	100～300ml/m ²	収穫30日前まで			3回以内			
だいず	アブラムシ類、インゲンマメゾウムシ			収穫14日前まで						
えだまめ	アブラムシ類、インゲンマメゾウムシ			収穫60日前まで	3回以内					
				収穫21日前まで						
たまねぎ	ネギアザミウマ			収穫21日前まで	5回以内					
にんにく	アブラムシ類、ネギコガ			収穫7日前まで	2回以内					
未成熟とうもろこし	アブラムシ類			収穫開始7日前まで	1回					
しょうが	アブラムシ類、ミドリヨコバイ			収穫45日前まで	2回以内					
やまのいも	アワノメイガ ヤマノイモコガ、アブラムシ類			1,500～2000倍	200～700ml/m ²	収穫60日前まで		1回		
ぶどう	チャノキイロアザミウマ、フタテンヒメヨコバイ ハマキムシ類					収穫45日前まで		2回以内		
かき	カキクダアザミウマ、カキノヘタムシガ、チャノキイロアザミウマ、フジコナカイガラムシ	1,500倍	1回							
いちじく	アザミウマ類	2000倍	200～700ml/m ²	収穫45日前まで	1回					

【効果・薬害等の注意】

- ①調製した薬液はできるだけ早くその日のうちに使用してください。
- ②さくらに使用する場合、夏期高温時には薬害を生ずる恐れがありますのでさけてください。
- ③適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

【安全使用上の注意】 マスク着用 手袋着用

- ①体調のすぐれない時は薬剤散布を行わないでください。
- ②誤飲・誤食などのないように注意してください。
- ③本剤は眼に対して刺激性がありますので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ④かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- ⑤使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- ⑥作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- ⑦散布中及び散布当日は小児、ペットなどが近づいたり立ち入らないように注意してください。
- ⑧ミツバチ及び蚕に影響がありますので注意して使用してください。

治療法：本剤の解毒剤としては動物実験で硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。